

「第11回 ARRN 運営会議」「第13回 ARRN 国際フォーラム」参加報告 (8月・韓国)

河川・海岸グループ 研究員 阿部 充

1. はじめに

2016年8月24日(水)、アジア河川・流域再生ネットワーク(以下、ARRN)の「第11回 ARRN 運営会議」、「第13回 ARRN 国際フォーラム」が、第12回水理情報学国際会議(HIC2016)の分科会として韓国仁川市にて開催されました。

表 開催概要

日時	2016年8月24日(水) 13:30～18:00
場所	Songdo ConvensiA (韓国・仁川)
主催	ARRN
プログラム	<p>■第11回 ARRN 運営会議</p> <p>①開会 ②2015年の活動報告 ③2017年の計画について ④次期 ARRN 事務局について ⑤参加国の拡大について 等</p> <p>■第13回 ARRN 国際フォーラム テーマ: The Relationship of River Rehabilitation and Drought Under the Climate Change</p> <p>①開会挨拶 ②Eco-hydrological River Assessment in the Geum River Baisin, Korea (Dr. Sangyoung PARK) ③Tokyo water disaster and drought crisis looming now (Dr. Nobuyuki TSUCHIYA) ④New technical perspectives to break a positive path for the activities of river restoration in Korea (Dr. Kyuho KIM) ⑤Adaptive management for ecosystems restoration in Haihe basin (Prof. Xiaosong WANG)</p>

2. 第11回 ARRN 運営会議

ARRNのSuk Hwan Jang会長の開会挨拶に続き、韓国の国土交通省のHee Kyu Jeong部長より歓迎の挨拶をいただき、JRRN(日本)、CRRN(中国)、KRRN(韓国)の2015年の活動報告が順番に行われました。

本会議では、ARRN規約に基づき、現在KRRN(韓国)が担うARRN事務局を、来年2017年のARRN運営会議・ARRN国際フォーラム開催にあわせて5年ぶりにJRRN(日本)に移管することが決まりました。来年の運営会議・国際フォーラムの会場については、現在の事務局であるKRRN(韓国)とJRRN(日本)が調整していくこととなりました。



写真 ARRN 運営会議の様子

3. 第13回 ARRN 国際フォーラム

今回のフォーラムでは「気候変動の状況に於ける河川再生と干ばつとの関係」をテーマに、KRRN(韓国)から「韓国 Geum 川流域における環境水文学的評価」「韓国における河川再生活動のための経路を壊す新しい技術的な考え方」の2件の発表が、JRRN(日本)とCEEN(中国)からはそれぞれ、「東京に迫る水災害と干ばつ危機」、「Haihe 流域における生態系再生のための順応的管理」と題し、1件ずつの発表が行われました。



写真 ARRN 国際フォーラムの様子

なお、本フォーラムの詳しい資料は下記 URL より確認できます。

<http://www.a-rr.net/report/docs/ARRN2016handbook.pdf>



写真 終了後の記念撮影